

# SDG

～ワークショップ2030 SDGs～

2019  
2/16

## s 研修会

### 開催報告

平成31年2月16日(土)に、パピオスあかし5階多目的ルームで『SDGs 研修会』を開催しました!

#### 誰一人取り残されない社会

すべての要素は直接あるいは間接的に  
つながっており、相互に作用し合っている。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



#### 『世界はつながっている』そして『私も起点』

世界が目指す目標を「見える化」し共有することによって行動が変わる。

#### 2030SDGsカードゲームとは

カードゲーム「2030 SDGs (ニイゼロサンゼロ エスディーゼズ)」はSDGsの17の目標を達成するために、現在から2030年までの道のりを体験するゲーム。

このゲームはSDGsの目標を1つ1つ細かく勉強するためのものではなく、「なぜSDGsが私たちの世界に必要なのか」、そして「それがあることによってどんな変化や可能性があるのか」を体験的に理解するためのゲーム。

与えられたお金と時間を使って、プロジェクト活動を行うことで、最終的にゴールを達成するというもの。

プロジェクトを実行する時の大きなポイントは、参加者全員が「世界の状況メーター」というホワイトボードに張り付けられたマグネットを共有していること。これは参加者全員で創り出す世界の状況を表していて、青は経済、緑は環境、黄は社会を意味しており、プロジェクトの実施によって増減する。



◆講師より「自分の内側が外側の現実世界を創る」というお話がありました。

『無覚的なパラダイム(認識)』 → 『無覚的な反応行動』 → 望まない現実世界

『自覚的なパラダイム(認識)』 → 『自覚的な選択』 → 望む現実世界



こしきみえ  
講師 越希美江さん



# 「誰一人取り残さない」2030年はどんな世界？

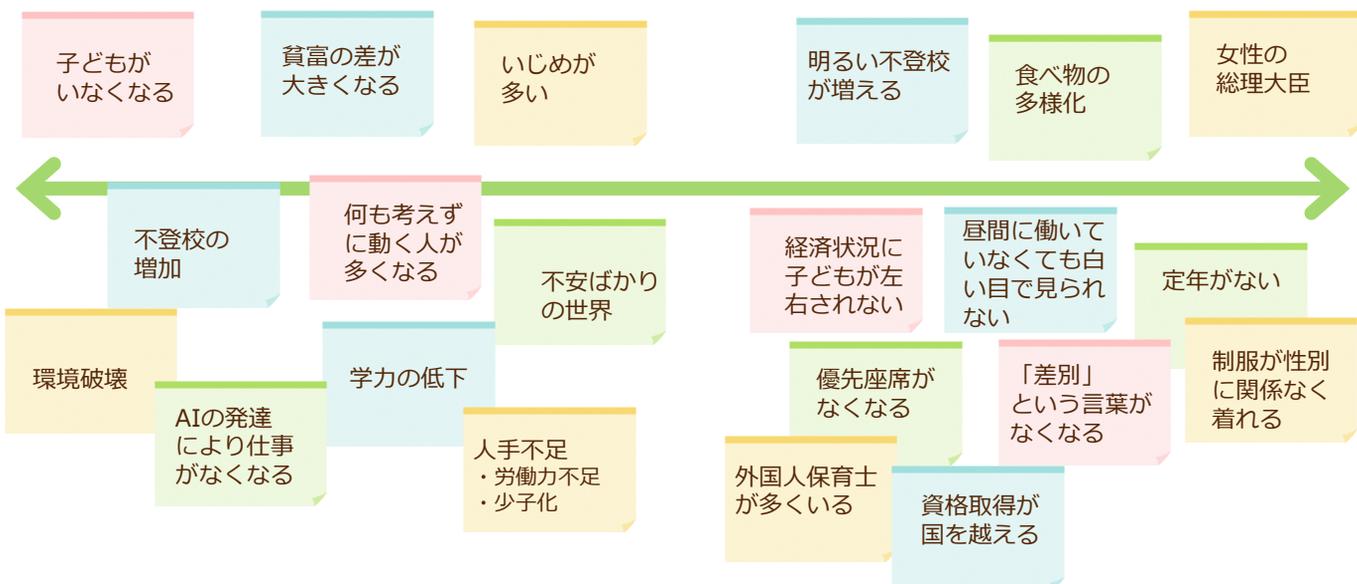
～多様性をテーマに2030年を考える～

4人1組の  
グループワーク

「排他的な場合の世界のイメージ」と「寛容な場合の世界のイメージ」を考え、みんなで共有しました。

## 排他的

## 寛容



## 参加者の感想

- これまでは、身の回りなことだけを考えていましたが、社会に目を向けて行動したいと思いました。
- あっという間の3時間で、中身のつまった研修会でした。
- 今が得すれば…という考え方ではなく、将来どうかな、と考えると選択肢が変わってくる。
- SDGsは他人事として捉えていたけれど、自分事になりました。
- すべてがつながっていることを自覚していきたい。
- ゲームを通して、コミュニケーションが大切だと再認識しました。
- ゲームとしてすぐ終了する可能性があったが、助け合いが始まった。自分自身に余裕がないと他を助けられないと体感しました。
- 自分の家庭がうまくいかないと、仕事に影響が出る。自分の周りを、意識を、まずは整えることが大切なのかもしれないと感じました。
- 目標しか見ていない状況から、視野を広げると見えてくる状況がある。自分起点でアクションを起こすこと、コミュニケーションを取ることは、本当に大事なのだと体感しました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました!!

